

令和4年度 事業報告

社会福祉法人
小山市社会福祉協議会

目次

1. 地域福祉の意識づくり・ひとづくり

1-1. 地域福祉について知ろう・参加しよう

- (1) 広報活動事業 **強化** 1
- (2) 小山市社会福祉協議会表彰 1
- (3) 第9回「ふくし」の標語コンクールの開催 1
- (4) 市民リフレッシュ講座事業 1

1-2. 福祉の心を育もう

- (1) 福祉用具貸出しと福祉教育講師派遣 2
- (2) 福祉教育協力校補助事業 2
- (3) サマーボランティアスクール事業 2

1-3. 地域福祉活動を実践しよう

- (1) ボランティア養成講座事業 3
- (2) ボランティア入門講座事業 3
- (3) おやまお助け隊(個人ボランティア)、ボランティアサークルの状況 **強化** 3
- (4) 社協ボランティアセンターの運営 4
- (5) おしゃべりダイヤル 4

2. 地域で支え合うしくみづくり

2-1. 支え合える地域をつくろう

- (1) 地区社会福祉協議会の設立・活動推進 **強化** 5
- (2) 生活支援体制整備事業 **強化** (市受託) 6

2-2. 地域のつながり・交流の場を広げよう

- (1) おもちゃ図書館の開館 9
- (2) 児童遊び場整備事業 9
- (3) シニアライフアップ講座・サークル事業 9
- (4) ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業 9

2-3. 必要な人に情報や支援をつなげよう

- (1) 心配ごと相談事業(一部市受託) 10
- (2) 暮らしのなんでも相談 10
- (3) 生活福祉資金貸付事業(県社協受託) 11
- (4) 緊急生活一時資金貸付事業 12
- (5) 緊急食料等支援事業 **強化** 12
- (6) 赤い羽根緊急生活支援商品券支給事業 12
- (7) 低所得世帯入学児童支援事業 13
- (8) 災害見舞金支給事業 13

(9) ひとり親家庭支援事業	13
(10) 視覚障がい者への「声の広報」の発行	13
(11) こども発達支援センター「たんぼぼ園」(一部市受託)	13
(12) 相談支援事業所「さくら」	15
(13) 日常生活自立支援事業(あすてらす おやま)(県社協受託)	15
(14) 成年後見制度利用支援事業(市受託)	16
(15) 市民後見推進事業/成年後見制度利用促進事業(市受託)	16
(16) 法人後見事業	17
(17) 基幹型/高齢者サポートセンター小山総合の運営 強化 (市受託)	18
(18) ホームヘルプサービス事業	18
(19) 在宅介護支援センター	19
(20) 在宅ねたきり老人等紙おむつ券給付事業(一部市受託)	19
(21) 善意銀行の運営	19

2-4. 協働の輪を広げよう

(1) 社協会員会費募集	20
(2) 共同募金運動の推進	20
(3) どんぐり基金(地域福祉振興基金)の造成 強化	21

3. 安全で安心して暮らせるまちづくり

3-1. 誰もが住みやすいまちをつくろう

(1) 車椅子・車椅子移送車貸出事業	22
--------------------	----

3-2. 災害時に助け合えるまちをつくろう

(1) 災害ボランティア活動推進事業 強化	22
------------------------------	----

4. 地域に根づいた法人の運営

4-1. 責任ある法人運営

(1) 理事会、評議員会、委員会の開催	23
---------------------	----

その他

(1) 日本赤十字社事業	25
--------------	----

資料

小山市社会福祉協議会善意銀行寄付者・払出先明細	26
令和4年度地域福祉振興基金(どんぐり基金)寄付受入明細書	28

事業報告附属明細書	30
-----------	----

1. 地域福祉の意識づくり・ひとづくり

1-1. 地域福祉について知ろう・参加しよう

(1) 広報活動事業（強化事業）

① 社協だより「ふれあい」の発行

広報委員会を中心に、分かりやすく親しまれる広報誌の作成に力を入れ、本会のPRと活動への参加を呼び掛けました。

発行月日	方法
6/1・9/1・12/1・3/1	全世帯に配布（54,750部発行／回）

② ホームページの運営、SNSを活用した情報発信

ホームページを通して積極的な情報提供に努めたほか、SNS（Facebook）や市の広報誌、新聞等を利用して啓発活動を進めました。

情報発信回数	ホームページ：35回	Facebook：39回

(2) 小山市社会福祉協議会表彰

開催日/会場	表彰受賞者
3月17日（金） 小山市男女共同参画センター 大会議室	社会福祉功労者：35人 どんぐり基金寄付者：10件 善意銀行寄付者：2件 「ふくし」の標語コンクール入賞者：14人

(3) 第9回「ふくし」の標語コンクールの開催

期間	区分	応募総数	結果
12月1日（木）～ 1月6日（金）	小学生	264点	最優秀作品1点、優秀作品3点
	中学生	162点	最優秀作品1点、優秀作品4点
	一般	254点	〃
	合計	680点	

(4) 市民リフレッシュ講座の開催

講座名	講師	対応
抹茶の頂き方と作法	結城 美鶴 氏	感染症拡大防止の為に中止

1-2. 福祉の心を育もう

(1)福祉用具貸出しと福祉教育講師派遣

①福祉用具貸出し

区 分	貸出件数		貸出器材内訳					
	校数	回数	点字盤	車椅子	アイマスク	高齢者体験	白杖	ビデオ
小学校	15校	20回	267個	95台	73個	34組	42本	-
中学校	1校	1回	-	-	-	6組	-	-
その他	3校	4回	-	3台	3個	12組	-	-
合 計	19校	25回	267個	98台	76個	52組	42本	-

②福祉教育講師派遣

区 分	校 数	手話講師派遣		点字講師派遣		当事者派遣他		合 計	
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
小学校	9校	6回	24人	6回	15人	4回	8人	16回	47人
中学校	1校	1回	5人	-	-	-	-	1回	5人
その他	1校(園)	-	-	1回	2人	-	-	1回	2人
合 計	11校(園)	7回	29人	7回	18人	-	-	14回	54人

(2)福祉教育協力校補助事業

区 分	校 数	補助額
小 学 校	23校	464,000円
中 学 校	3校	60,000円
義務教育学校	1校	26,000円
高 等 学 校	4校	108,000円
合 計	30校	631,000円

(3)サマーボランティアスクール事業

①小学生親子（4年生以上）サマーボランティアスクール

開催日/会場	内 容	協力機関・団体	参加者
8月7日(日) 栃木県立県南体育館 1階研修室	視覚障がいについて学ぼう ア. 盲導犬についてのお話しと歩行体験 イ. 学習シートに沿った事前学習、 振り返り	東日本盲導犬協会	20組 38名

②中学生（2年生以上）・義務教育学校（8年生以上）・高校生サマーボランティアスクール

開催日/会場	内 容	協力機関・団体	参加者
7月28日(木) 健康医療介護総合支 援センター	ポッチャ体験 ポッチャについての講話	栃木県ポッチャ協 会	20組 38名
7月29日(金) 旧保健福祉センター	点字の手打ち体験 点字についての講話	小山点友会	

1-3. 地域福祉活動を実践しよう

(1) ボランティア養成講座事業

於：旧保健福祉センター、しらさぎ館

講座名	期 間	回数	協力団体	参加者
手話初級講座	7/14～10/27(木曜 昼)	15回	手話サークル 環	6人
手話初級講座	5/10～8/23(火曜 昼)	15回	手話サークル すずらん	1人
手話初級講座	7/13～10/5(水曜 夜)	12回	手話サークル 彩	4人
手話入門講座	6/23～12/8(木曜 夜)	23回	手話サークル 光里の環	14人
音訳ボランティア養成初級講座	10/11～1/31(火曜 昼)	15回	郭公の会	6人
パソコン点訳初級講座	7/12～11/29(火曜 夜)	20回	福朗の会	3人
要約筆記入門講座	2/7～3/7(火曜 昼)	5回	おやま OHP	5人
7講座(手話4、音訳1、点訳1、要約筆記1)		105回	7団体	39人

(2) ボランティア入門講座事業

開催日/会場	内 容	協力機関・団体	参加者
7月10日(日) 小山市市民活動センター	初めての方のための傾聴入門講座 研修「傾聴は敬聴なり！」 演習「肯定感を味わう！」 研修「傾聴が身につく自分づくり！」	小山市市民活動センター 小山市傾聴ボランティア協議会 講師：黒川 貢 氏	26人
10月14日(金) コワーキングスペース SEKEN	コワーキングスペース SEKEN で学ぶ ふくしの夜活 「Boccia Night」 ユニバーサルスポーツから福祉理解を図る	コワーキングスペース SEKEN	15人
11月6日(日) 小山市市民活動センター	ボランティアを目指す方のための傾聴初級講座 研修「傾聴は敬聴なり！」 研修「傾聴が身につく自分づくり！」 グループワーク	小山市市民活動センター 小山市傾聴ボランティア協議会 講師：黒川 貢 氏	29人
1月28日(土) 小山市市民活動センター	「伝わる」チラシを作れるようになろう！ 講話「チラシ作りのコツ」 演習「チラシを作ってみよう！」	小山市市民活動センター	22人

(3) おやまお助け隊(個人ボランティア)、ボランティアサークルの状況(強化事業)

項 目	登録数	活動費助成
おやまお助け隊(個人ボランティア)	46人	-
ボランティアサークル	31団体(1,429人)	計523,000円を助成

(4)社協ボランティアセンターの運営

①ボランティアの相談・斡旋、登録団体等への支援状況

項目	件数
ボランティア活動の相談	17件
ボランティア要請の相談	12件
登録団体の活動支援 (活動場所調整、情報提供、視察研修、 物品・助成金申請・記念誌発行支援等)	随時

②ボランティア保険取扱い

種類	取扱件数		
	団体加入	個人加入	加入者合計
ボランティア活動保険	27団体	5人	1,707人
ボランティア行幸用保険	2団体	-	33人
福祉サービス総合補償	5団体	-	24,948人
送迎サービス補償	6団体	-	851人
合計	40団体	5人	27,539人

(5)おしゃべりダイヤル

新型コロナウイルスの感染拡大により、地域活動や交流事業が休止となったことにより地域住民のふれあい、安否確認、情報交換の場が失われたことに対して、小山市傾聴ボランティア協議会の協力を得、小山市市民活動センターと共催により電話傾聴を通じた“つながりづくり”を行いました。

開設日時	毎週 月・木・金曜日 午後1時～4時（祝・祭日は休止）
活動状況	利用件数：延 258人 協力ボランティア数：11人

2. 地域で支え合うしくみづくり

2-1. 支え合える地域をつくろう

(1)地区社会福祉協議会の設立・活動推進（強化事業）

地域住民が地域の生活・福祉課題を共有し、地域の助け合いによって課題を解決し、住民主体の地域福祉活動を推進するために、市内11地区に地区社会福祉協議会を設置し、活動費の助成、各地区の状況に応じた支援を行いました。

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事・イベント等が中止となりました。

地区名	活動内容
小山北部地区 (H18.8.26 設立)	高齢者への名札配布 視察研修会（中止）※1 地域活動への助成金交付
小山東部地区 (H18.8.26 設立)	視察研修会（11月） 研修会の開催（2月） 一人暮らし高齢者宅（75歳以上）友愛訪問（1月～2月）
小山中部地区 (H18.8.30 設立)	自治会ボランティア会での友愛訪問活動（通年） まちづくりビジョン推進委員会の開催（11月、3月） 小山第一小学校との交流事業、研修事業（中止）
小山南部地区 (H18.9.5 設立)	南部流見守り活動ガイドの発行（6月） 一人暮らし・高齢者夫婦世帯（75歳以上）友愛訪問（10月～11月） 視察研修会（11月） 見守り活動情報交換会の開催（3月）
大谷地区 (H15.12.14 設立)	おおや社協だより「大谷きずな」発行（49号・50号・51号） 地区社協PR活動（イベント・講座 計2件） 寝たきり老人紙おむつ券給付事業（申請：3千円×63人） 大谷手打ちそばの会活動支援（中止）※1 高齢者一人暮らし お昼を一緒に食べる会（中止）※1 本の読み聞かせ「おはなし会」開催（2回/月） 地域美化・環境整備支援（小中学校での共同定植作業、大谷公民館への配布） 地域社会福祉施設と継続的關係作り（中止）※1 「月曜カフェ」の開催（毎週月曜日・一部休止） 小山市移動図書館「せきれい号」開設（1回/月） 高齢者等の日常生活支援事業（支援回数191件） ボランティア交流・研修・親睦会の開催 ボランティアニュースレター発行（No.13） 登録ボランティアを増やす活動（企画） 地域福祉コーディネーターによる相談対応「暮らしの相談室」

地区名	活動内容
間々田地区 (H15.1.17 設立)	地域ボランティア会活動の推進と助成金交付 (友愛訪問、清掃活動、敬老会、福祉施設訪問、子育て支援、研修会等) 間々田地区社協だより(第2号)の発行
豊田地区 (H14.6.1 設立)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動中止
桑地区 (H14.7.30 設立)	見守り安心サポーター事業 桑地区高齢者見守り訪問事業 レクリエーションフェスティバル(中止)※1 ドッジボール大会(中止)※1 「楽しい健康づくりの集い」事業(中止)※1 「すきです羽川ふれあいイルミネーション2022」への協力 桑地区子ども会育成会連絡協議会が実施する「いきもの探検隊」「ジャンボかるた大会」への協力 地域交流会(中止)※1 冬の星座観測会(中止)※1
中地区 (H25.5.19 設立)	中地区たすけあい事業「だけボラ」(活動回数1回) 「だけボラ」PR活動、事業説明会(チラシ発行1回、説明会3回) 中地区社協活動計画の推進 中ふくしだより発行(第10号) 視察研修会(中止)※1 いきいきふれあいさくらとの交流会(中止)※1 昔あそび交流会(中止)※1
寒川地区 (H25.5.30 設立)	標語コンクール、寒川ウォーキング他協力 交流事業(中止)※1
絹地区 (H27.3.4 設立)	絹地区移動支援事業「のらっせ・きぬ」(活動回数4回) 「のらっせ・きぬ」PR活動・事業説明会(チラシ発行2回、説明会1回) 絹地区社協だより発行(7号・8号)

(2)生活支援体制整備事業(強化事業/市受託事業)

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、市と連携を図りながら第1層協議体(市圏域の支え合いを発展させ、多様な生活支援サービス体制を推進していく場)を運営しています。令和4年度も引き続き、新たな地域のつながり方～企業や商店等の地域資源を活用した～誰でも参加できる地域のサロンづくりをテーマとして、人材づくり・常設型・定期型に分かれて協議、活動を重ねてきました。

人材づくり：7/30「ボランティアのつどい」を開催 参加人数16人 ボランティア登録18人
常設型：8/10常設サロン準備委員会設立 9/8～週1回準備会議開催

11/1:城東常設型サロン「じゃあ、またね」開設(市生活支援体制整備モデル事業)

開設日時：木曜を除く毎日10時～15時30分 運営ボランティア：35人

月平均延利用者数233人

定期型：参加者による自主運営化が進行

1) 第1層協議体・専門委員会(まるっとおやま支え愛)の開催

	実施日	内 容 (詳 細)
第1回	5/23	<p>新たな地域のつながり方についてグループワーク</p> <p>①人材づくり 常設型のボランティア募集を目的とした集いを7月末に実施。 募集のためのビジョン形成。個人のネットワークの活用。</p> <p>②常設型サロンづくり 会場整備(～8月) 使用方法、必要物品、改修はボランティアを募り行う。 6月～毎月2回、現地に集まり準備会議を実施。</p> <p>③定期開催型サロンづくり⇒名称：いきいきあじさいサロン 第2・第4(水)10時～11時30分に実施。 100歳体操を取り入れ、参加者の自主性を引き出していく。 体操グループや「いきふれ」との差別化を図る</p>
第2回	7/11	<p>ボランティアのつどい実施について(人材育成グループ)</p> <p>日時 7月30日(土)13時30分～15時30分</p> <p>場所 小山市中央公民館 第一研修室</p> <p>啓発 チラシ・ロコミ</p> <p>内容 常設型サロングループ経過報告</p>
第3回	10/3	<p>グループワーク(各グループ経過報告)</p> <p>①人材づくり 「ボランティアのつどい」開催報告→登録者18名</p> <p>②常設型サロンづくり 毎週木曜日に運営準備会議開催 開設準備会議にてサロン運営の役員決定。隔週、開設準備会議を開催 役員9名で週1回の当番性とし、ボランティアとペアで運営にあたる</p> <p>③定期開催型サロンづくり 参加者は徐々に増加。7月から月2回を週1回に実施回数増加。 参加費1回100円から月200円に変更。 ～常設型・定期開催型サロンのモデル事業や人材育成を他の地域に展開していく ため、手引書をつくらせたら～</p>
第4回	1/16	<p>常設型サロン経過報告</p> <p>令和4年度生活支援体制整備事業の進捗状況について(報告)</p> <p>生活支援体制整備事業(全体)</p> <p>協議体・専門委員会グループ別の報告</p>
第5回	3/20	<p>令和2年度～4年度の生活支援体制整備事業協議体振り返り</p> <p>第2層の生活支援体制整備事業報告</p> <p>協議体の活動について</p>
<p>常設型サロン開設のための生活支援コーディネーター活動内容</p> <p>6～3月：開催準備会議、サロン清掃、備品搬入・設置・工事、サロン説明会、見学会開催、 チラシ作成・配布、バザー開催、運営会議参加等</p>		

2) 外出を支え隊運営事業

高齢者の通院支援を目的としたボランティア活動です。

利用者数 33 人、ボランティア数 18 人、延べ利用 件数 161 件

3) 「認定ドライバー養成研修」

外出を支え隊運営事業に必要なボランティアドライバーの養成を目的に実施しました。

令和 4 年 6 月 26 日(日)~27 日(月) 参加者数 21 人

(研修後 8 人が外出を支え隊ボランティアに登録)

4) 買物支援事業

市内の 6 事業所の協力を得て、7 自治会 6 グループで月 2 回、実施しています。

5) 「生活支援ボランティア入門編」 11 月 17 日(水)~12 月 8 日(水)開催

生活支援の担い手という考え方を改め、ちょっとした支援をしてみたい方向けのきっかけづくりを目的にボランティア入門編を開催しました。 参加者数 20 人

6) 「生活支援ボランティア活用編」 令和 5 年 3 月 14 日 (火) 開催

入門編の終了者向けに、今後の活動に向けボランティア団体の紹介と活動団体の見学を実施しました。 参加者数 8 人

7) 生活支援コーディネーター研修

実施日	研修名	主催等
7/6	・県生活支援コーディネーター養成研修(初任者向け)	栃木県・県社協
7/10	・課題解決ミーティング えんがお	おやまーる
8/19	・地域のお宝発表会	CLC
9/1~9/2	いきがい・助け合いサミット	さわやか財団
9/7	生活支援体制整備事業に係る担当者情報交換会	栃木県・県社協
10/11,11/30	生活支援コーディネーター養成研修(現任者向け)	栃木県・県社協
11/14~12/6	「小さな拠点」づくり	内閣府
12/12	シン・地域共生社会シンポジウム	県社協
1/25	生活支援コーディネーター研究協議会	全社協
2/2	住民主体の地域支え合い推進フォーラム	県社協
2/14	認知症地域推進員連絡会	県
2/16	ふくしのチカラ実践フォーラム	県社協
3/1	わいがや座談会 TOCHIGI	県・県社協
3/22	SC カフェさいたま	埼玉県 SC 連絡会

※SC：生活支援コーディネーター

2-2. 地域のつながり・交流の場をげよう

(1)おもちゃ図書館の開館

昭和61年9月に、心身障がい児を対象として、障がい児の相互の交流を図りながら遊びを創造し、子ども達の成長・発達を支援していくことを目的として開設し、ボランティアグループ「ピノキオ」の協力を得て運営を行ってきました

現在では、広く一般のお子さんをも対象に開館しており、学生ボランティアの参加も得ながら、沢山の親子がおもちゃを通して交流を図ることのできる場となっています。

開設日時	毎月第1土曜日 午前10時～午後3時（祝・祭日は休館） 令和5年度においては、8月は感染拡大防止のため休館
開設場所	こども発達支援センター「たんぼぼ園」（神鳥谷934-3）
活動状況	利用者数：延782人 協力ボランティア数：延90人

(2)児童遊び場整備事業

各自治会で管理する児童の遊び場の整備について、共同募金より助成金を交付いたしました。

自治会名	助成額	総額
伊保沼自治会	遊具設置等：193,000円	193,000円

(3)シニアライフアップ講座事業

市内在住の60歳以上の方を対象に、昭和60年から講座を開講し、ライフワークとして趣味を楽しむきっかけづくり、生きがいづくりを推進しています。なお、平成30年度からは、講座の名称を、「シニアライフアップ講座」と改めて実施しています。

シニアライフアップ講座実施状況

講座名	籐手芸	日光彫	折り紙	太極拳	ガーデニング	合計
実施日数	16日	16日	8日	18日	7日	65日
受講生	14人	7人	8人	10人	6人	45人

※籐手芸、日光彫講座は在校生のみ開講

(4)ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

老人クラブ、地域ボランティア会の協力を得て、孤立しがちな75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、社会とのふれあいをもってもらい、地域のあたたかい気持ちを伝えることを目的として、会員が日用品等を届けながら月2回程度訪問する友愛訪問事業を実施しました。

地区名	実施クラブ	対象者数(人)			地区名	実施クラブ	対象者数(人)		
		男	女	計			男	女	計
小山地区	2ヶ所	2	9	11	豊田地区	1ヶ所	0	4	4
大谷地区	1ヶ所	1	4	5	桑地区	5ヶ所	3	13	16
間々田地区	3ヶ所	7	11	18	絹地区	1ヶ所	3	4	7
生井地区	-	-	-	-	小計	14ヶ所	16	47	63
寒川地区	1ヶ所	0	2	2					
中地区	-	-	-	-	自治会V会	4ヶ所	4	34	38
穂積地区	-	-	-	-	合計	18ヶ所	20	81	101

2-3. 必要な人に情報や支援をつなげよう

(1) 心配ごと相談事業（一部市受託事業）

社会生活の中で生ずる諸問題について、相談員（民生委員児童委員、学識経験者）が市民からの相談に応じ、問題解決の手助けを行っています。

開設日時：毎週火曜日 午前10時～午後3時（毎月第2・第4の午前中は法律相談）

場 所：旧保健福祉センター 心配ごと相談室（小山市中央町2-2-21）

ア. 相談実施状況

項目	一般相談	法律相談	合計
開設日数	25日(延相談員数50人)	24日(延相談員数48人)	49日(延相談員数98人)
相談件数	39件(内電話相談9件)	122件	161件(内電話相談9件)

イ. 相談種別取扱件数

NO	相談種別	件数	割合	NO	相談種別	件数	割合
1	財産問題	52件	32.3%	11	精神衛生問題	1件	0.6%
2	離婚問題	13件	8.1%	12	高齢者福祉問題	5件	3.1%
3	家族問題	17件	10.6%	13	人権・法律問題	5件	3.1%
4	住宅問題	9件	5.6%	14	結婚問題	1件	0.6%
5	生計問題	15件	9.3%	15	年金問題	-	-
6	苦情問題	17件	10.6%	16	母子・父子福祉問題	1件	0.6%
7	事故問題	3件	1.9%	17	健康・衛生問題	2件	1.2%
8	職業・生業問題	5件	3.1%	18	児童福祉・母子保健問題	-	-
9	医療問題	2件	1.2%	19	教育・青少年問題	-	-
10	その他	12件	7.5%	20	心身障がい者・児童福祉問題	1件	0.6%
相談件数合計						161件	100%

(2) 暮らしのなんでも相談

来庁・電話による市民からの相談を随時受け付け、適切な機関につなげるとともに、本会として援助を行いながら、要援護者の抱える問題を軽減し、自立に向けた支援を行いました。

総相談件数	うち 子育て世帯	2回目以降 の相談	相談方法			
			電話	来所	訪問	メール 郵便等
1,121件	57件	184件	438件	651件	13件	19件

相 談 内 容						
生活困窮 (コロナ除く)	コロナ貸付	精神疾患 認知症	家族関係	虐待・DV	要望	その他
261 件	631 件	26 件	24 件	54 件	10 件	115 件

(3) 生活福祉資金貸付事業（栃木県社会福祉協議会受託事業）

低所得世帯、身体障がい者世帯、失業等により生活が困難な世帯を対象に、経済的自立を支援し、生活意欲の助長を図ることを目的として貸付を行いました。また、昨年度に引き続き特例貸付として、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減収や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯への貸付の申請受付も行いましたが、新型コロナウイルス感染症の特例貸付は9月30日をもって終了しました。

実施主体は県社協で、本会は生活福祉資金貸付申請書類の受理、償還指導、予備審査等の直接的な事務を担当しました。

生活福祉資金貸付件数

資金種別	貸付件数	貸付金額(円)
総合支援資金	-	-
福祉・教育・小口資金	6 件	1,896,000 円
生活復興支援資金	-	-
離職者支援資金	-	-
臨時特例つなぎ資金	-	-
合 計	6 件	1,896,000 円

新型コロナウイルス感染症 特例貸付申請件数（9月30日終了）

資金種別	申請件数	申請金額(円)
緊急小口資金特例貸付	206 件	39,780,000 円
総合支援資金特例貸付	149 件	77,800,000 円
合 計	355 件	117,580,000 円

(4)緊急生活一時資金貸付事業

所得が低く貸付を受けることも難しい、支援を要する世帯に対し、生活のつなぎとして資金を貸付しました。

【緊急生活一時資金月別貸付・償還状況】（償還金額は令和4年度より前の貸付分を含む）

月	貸付件数	貸付金額	償還件数	償還金額
4月	1件	10,000円	5件	41,500円
5月	3件	30,000円	2件	20,000円
6月	4件	40,000円	5件	42,000円
7月	7件	70,000円	3件	30,000円
8月	-	-	5件	43,000円
9月	2件	18,000円	2件	12,000円
10月	3件	30,000円	3件	22,000円
11月	6件	60,000円	5件	52,000円
12月	6件	60,000円	5件	40,000円
1月	6件	60,000円	1件	10,000円
2月	1件	10,000円	4件	33,000円
3月	1件	10,000円	1件	10,000円
合計	41件	398,000円	52件	355,500円

(5)緊急食料等支援事業（強化事業）

NPO法人フードバンクとちぎ、道の駅思川、本会善意銀行事業との連携や、市民の方からの寄付により調達した食料を、生活が困窮し食料等の確保に逼迫している世帯に支給しました。

受入量	提供量	支援世帯数
811Kg	1,382Kg	112世帯

(6)赤い羽根緊急生活支援商品券支給事業

止むを得ない事情により生計を維持できなくなった世帯等に対し、世帯員の安全で安心な生活の確保のため、赤い羽根共同募金を活用し、全国共通商品券を支給しました。

【上限額】15,000円分（1世帯／年）

【支給内容】1回の支援につき5,000円分を上限とし、年度内に3回まで可。但し、前回助成時から3か月経過していることが条件。なお、18歳未満の児童を養育している世帯で、小学校や中学校への進学費用が必要な場合に限り、追加で5,000円分を助成することができる。

支給回数	支給額	内訳		
		1回利用世帯	2回利用世帯	3回利用世帯
16回	80,000円	14世帯	2世帯	0世帯

(7)低所得世帯入学児童支援事業

小学校に入学する生活保護世帯の児童に対し、ランドセルを贈り就学を支援していますが、今年度の対象支援児童はおりませんでした。

(8)災害見舞金支給事業

災害救助法の適用にならなかった小災害の罹災 9 世帯に対して、160,000 円を見舞金として贈りました。

(9)ひとり親家庭支援事業

歳末時期、ひとり親家庭の親子に楽しいひとときを過ごしてもらうため、開催しました。

事業名	開催日・場所	参加者
親子ふれあい工作体験	12月24日(土) 旧保健福祉センター	1家族2名参加

(10)視覚障がい者への「声の広報」の発行

視覚障がい者を対象に、「広報おやま」「市議会だより」「社協だより」「警察だより」等の情報を、ボランティアグループ「郭公の会」の協力を得てCDにデジター録音し、毎月無料で発行しています。約 20 人の利用者があり、視覚障がい者の貴重な情報源となっています。

(11)こども発達支援センター「たんぼぼ園」

①児童発達支援事業（一部市受託事業）

小山市こども発達支援センター「たんぼぼ園」は、小山市・石橋町・国分寺町・野木町を対象地区として、昭和 43 年 6 月に母子通園ホームとして発足し、平成 11 年度からは上三川町・南河内町を加え、1 市 5 町の身体障がい児福祉の中核施設としての役割を担ってきました。

その後、在籍児童数が急増したことにより、それぞれ独立し、現在は小山市を対象地域として、肢体不自由児、知的障がい児、その他障がいを持つ子どもたちや発達に心配のある子どもたちに、療育訓練を行っています。

平成 28 年 8 月からは、開設場所をこれまでの市保健福祉センター内から、あけぼの保育所仮園舎跡（神鳥谷 934-3）に移し、療育を行っています。

【契約幼児の状況】(R4.3.31 現在)

ア. 市町別幼児数

小山市	他市町	計
55 人	1 人	56 人

イ. 年齢別幼児数

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
0 人	2 人	13 人	10 人	15 人	16 人	56 人

ウ. 障がいの特性別幼児数

肢体不自由	知的な遅れ	自閉症スペクトラム(疑い含む)	その他	計
2 人	6 人	47 人	1 人	56 人

②放課後等デイサービス事業（強化事業）

平成 28 年 11 月から、就学児を対象に、学校終了後又は夏休み等の長期休業日に、生活能力の向上のため必要な訓練を行ったり、社会との交流促進を図り学校や家庭とは異なる交流、体験を通じて発達支援を行う「放課後等デイサービス事業」を開始しました。

【契約児童の状況】（R4.3.31 現在）

ア. 市町別児童数

小山市	他市	計
29 人	1 人	30 人

イ. 学年別・所属別児童数

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計
6 人	6 人	6 人	5 人	3 人	4 人	30 人
普通学級		特別支援学級		特別支援学校		計
1 人		18 人		11 人		30 人

ウ. 障がいの特性格別児童数

肢体不自由	知的な遅れ	自閉症スペクトラム(疑い含む)	計
3 人	5 人	22 人	30 人

【小山市こども発達支援センター「たんぽぽ園」利用状況】

年月	児童発達支援						放課後等デイサービス					
	前月末	新規	退園	月末	延べ人数	開設日数	前月末	新規	退園	月末	延べ人数	開設日数
R4.4	45	3	0	48	194	19	26	6	1	31	123	19
R4.5	48	4	1	51	196	19	31	0	0	31	142	19
R4.6	51	1	1	51	238	22	31	0	0	31	154	22
R4.7	51	1	1	51	207	20	31	0	0	31	139	20
R4.8	51	0	0	51	178	22	31	0	0	31	128	22
R4.9	51	2	0	53	213	20	31	0	0	31	136	20
R4.10	53	1	0	54	189	20	31	0	0	31	131	20
R4.11	54	1	1	54	217	20	31	0	0	31	130	20
R4.12	54	1	0	55	203	20	31	0	0	31	130	20
R5.1	55	1	0	56	214	19	31	0	0	31	127	19
R5.2	56	0	0	56	208	19	31	0	1	30	130	19
R5.3	56	0	17	39	224	21	30	0	6	24	122	21
合計	***	15	21	***	2481	241	***	6	8	***	1592	241

(12)相談支援事業所「さくら」

障がい児・者とその家族からの相談に応じ、利用者の意志を尊重し、適切なサービスが利用できるよう福祉サービス等の利用計画を作成するとともに、利用者が可能な限り自立した日常生活・社会生活を送ることができるよう支援しました。

契約人数		相談件数	
障がい児	82人	電 話	858件
障がい者	5人	訪問・面談	507件
合 計	87人	合 計	1365件

(13)日常生活自立支援事業（あすてらす おやま）（栃木県社会福祉協議会受託事業）

平成11年10月から、栃木県社会福祉協議会から事業委託を受け、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力に不安のある方が自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類の預かりサービス等の相談・支援を行いました。

管轄地域は、小山市、野木町の1市1町となっています。

ア. 利用者数

前年度末利用者数	契約件数	解約件数	野木町社協への移管件数	年度末利用者数
109人	9人	13人	10人	95人

イ. 状況別利用者数

認知症高齢者等	知的障害者	精神障害者	その他	計
47人	22人	26人	0人	95人

ウ. 年齢別利用者数

59歳まで	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	計
27人	18人	23人	17人	10人	95人

エ. 相談援助・支援件数

相談援助件数 【電話や来所による相談およびサービスを伴わない訪問の件数】	支援件数 【福祉サービスの利用援助および日常的金銭管理サービスの支援回数】
4,170件	1,621件

オ. 支援件数内訳

専門員	生活支援員	合 計
302件	1,319件	1,621件

(14)成年後見制度利用支援事業（市受託事業）

成年後見制度に関する相談、適切な機関へのつなぎ等の必要な支援を行うとともに、市長申立や費用助成の援助等を通し、必要な方が誰でも適切に制度を利用することができるよう、支援を行いました。

①相談支援の状況

初回 相談者数	初回相談方法			継続支援件数 （初回相談が 前年度以前）	総相談件数	総支援件数
	来所	電話	メール・ 郵便等			
108人	36件	68件	4件	653件	1,281件	1,294件

親族申立 支援件数	市長申立 支援件数	申立に至った件数			訪問 件数	費用助成件数		後見人等 からの相談
		親族等 申立	市長 申立	計		後見人 報酬	申立 費用	
92件	283件	4件	3件	7件	148件	2件	0件	94件

②法律及び福祉の専門職を交えたケース検討会議の開催

開催日	検討・協議内容
11月9日(水)	権利を侵害されている在宅の高齢者について、成年後見制度の利用を含む今後の支援方針について

(15)市民後見推進事業／成年後見制度利用促進事業（市受託事業）

権利擁護支援の地域連携ネットワークの中核機関として、判断能力の低下した高齢者や障がい者等が安心して暮らすことのできる体制整備を推進するため、成年後見制度の普及・啓発業務、相談対応業務、成年後見制度の利用促進業務、後見人等の支援業務などを実施しました。

①『思いつむぎノート』の配布

配布部数	配布場所
700部	高齢者サポートセンター、市関係各課、出前講座受講者、希望者、相談者 等

②『権利擁護あんしんサポートブック』の配布

配布部数	配布場所
700部	高齢者サポートセンター、市関係各課、出前講座受講者、希望者、相談者 等

③出前講座の開催

講座名	実施回数	受講者数
「思いつむぎノート」書き方講座	2回	26人
成年後見制度と「あすてらす おやま」	1回	17人
知って安心！ 認知症への備えと予防	7回	131人
楽しくわかる 終活講座	6回	84人
合計	16回	258人

④関係機関等への研修等の実施

実施回数	受講者数
5回	101人

⑤市民後見推進講座の開催

開催日	講師・内容
3月23日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師：栃木県弁護士会 亀岡 康一 氏 内容：成年後見制度の概要、成年後見人の業務内容 ・ 講師：栃木市社会福祉協議会 関口 良一 氏 栃木市市民後見養成講座受講者 殿塚 光之 氏 内容：法人後見と市民後見の現状と期待 など <p>【受講者：22人】</p>

⑥成年後見制度に関する委員会

開催日	報告・協議事項
11月15日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成年後見制度に関する活動実績の報告 ・ 地域連携ネットワークの中核機関設置の報告 ・ 中核機関の体制整備についての検討 ・ 受任調整会議の実施についての検討 ・ 担い手の確保についての検討 など
3月7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民後見推進講座の開催についての報告 ・ 地域連携ネットワーク協議会運営要領（案）についての検討 ・ 法人後見事業実施要綱（案）についての検討 ・ 法人後見運営会議（案）についての検討 ・ ケース検討会議実施要綱（案）についての検討 など

(16)法人後見事業

(年度末件数)	総数	うち高齢者	うち障がい者
受任中件数	3件	1件	2件
累計受任件数	5件	3件	2件
累計終了件数	2件	2件	—

(17)基幹型地域包括センター／高齢者サポートセンター-小山総合の運営（強化/市受託事業）

①基幹型地域包括支援センター業務

平成 27 年度より、市内高齢者サポートセンターの基幹型として、市との連絡調整、各高齢者サポートセンターの統括、支援等を行い、高齢者サポートセンターの機能強化を図り、地域包括ケアを推進しました。

活動内容		回数
定例会（センター、主任ケアマネ、社会福祉士、保健師・看護師）		全 47 回
高齢者サポートセンター運営協議会		2 回
自立支援サポート会議		6 回（12 ケース）
相談・支援	各高齢者サポートセンターへの支援・指導	207 件
	ケアマネジャー・事業所に対する相談	15 件

②高齢者サポートセンター-小山総合の業務

小山地区（北部・中部支部）の高齢者福祉の中核機関として、高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活を継続することができるよう、様々な相談や要介護状態にならないような予防対策をはじめ、個々の状態に応じた介護予防プランの作成等の支援を行いました。

ア. 総合相談等業務

区分	実績	相談者内訳
相談実人数	526 人	来所 140 人、電話 386 人、うち訪問 128 人（再掲）
相談延人数	670 人	来所 177 人、電話 493 人、うち訪問 129 人（再掲）
実態把握調査	341 件	

イ. 介護予防支援業務

区分	実績
介護予防教室開催	15 回（参加者 318 人）
介護予防プラン作成（直営）	744 人
介護予防プラン作成（委託）	1,723 人
事業対象者プラン作成	355 人

(18)ホームヘルプサービス事業

平成 7 年 7 月に小山市からの受託事業としてスタートし、平成 11 年 4 月からは、小山市より ホームヘルパーの移管を受けて、介護保険と介護予防サービスの利用者、自立支援サービスの利用者に対して、食事や身の回りの世話、相談、助言等の各種サービスを提供しました。

ア. 対象世帯別サービス提供者数

対象世帯	人数	利用者内訳
介護保険、介護予防利用者	51 人	介護 23 人、介護予防 19 人、事業対象者 5 人
自立支援利用者	16 人	身体障がい 10 人、知的障がい 2 人、精神障がい 4 人、児童 0 人
同行援護、移動支援利用者	3 人	同行援護 2 人、移動支援 1 人
合計	70 人	

イ. ホームヘルパー活動状況（常勤・登録別サービス提供時間）

区分	人数	訪問延日数	訪問延回数	訪問延時間
常勤ヘルパー	2人	461日	1,537回	1,275時間50分
登録ヘルパー	9人	2,295日	7,007回	5,965時間45分
計	11人	2,756日	8,544回	7,241時間35分

(19)在宅介護支援センター

平成11年4月にスタートし、平成12年度からは介護保険制度の導入に対応しながら、介護や保健福祉サービスなど各種相談に対応してきました。平成18年4月に介護保険法が改正され、「高齢者サポートセンター」が地域に密着した相談窓口を行うことになってからは、介護サービス計画（ケアプラン）や介護予防プランの作成を中心に行っています。

ア. 介護サービス計画及び介護予防プラン作成人数

区分	実人数	延人数
介護サービス計画	44人	415人
介護予防プラン	15人	121人
合計	59人	536人

対応実人数	対応延べ人数	対応内容
59人	1328人	電話769人、来所21人、訪問538人

(20)在宅ねたきり老人等紙おむつ券給付事業（要介護4・5非課税世帯：市受託事業）

市内に居住する住民税非課税世帯で、在宅で常時紙おむつを必要とする状態の高齢者等を介護している家族を対象に、紙おむつ券の給付を行っています。給付券1枚は1,000円分で、市内43ヶ所の店舗で交換でき、同一年度内に非課税世帯には最大12枚、課税世帯には最大5枚の給付券を給付しました。

区分	対象者	配布枚数	内使用枚数	助成額
非課税世帯（要介護4・5）	91人	951枚	847枚	846,848円
非課税世帯（その他）	264人	2,857枚	2,411枚	2,411,000円
合計	355人	3,808枚	3,258枚	3,257,848円

(21)善意銀行の運営

不要になった物や活動の収益で購入した物など、市民、団体、企業から善意により寄付された物品を、必要とする施設や個人に払い出す助け合いの活動を行っています。

（詳細は26～28ページ参照）

預託（延）		払出（延）	
個人	29件	個人	29件
団体	11件	団体	11件
合計	40件	合計	40件（重複を含む）

2-4. 協働の輪を広げよう

(1) 社協会員会費募集

市民総参加による地域福祉活動を推進するために、引き続き会員拡充に努め、自治会連合会、民生委員児童委員協議会等のご協力と多くの市民の方々のご理解により、次のとおり会員の加入を得ました。

◎会員加入の状況

会 員 数				会費納付額
普通会員	特別会員	法人会員	計	
29,603 口	1,064 口	209 口	30,876 口	11,001,950 円

◎地区別内訳

区分 地区	普通会員		特別会員		法人会員		その他 (円)	金額 (円)
	人数 (人)	口数 (口)	人数 (人)	口数 (口)	人数 (人)	口数 (口)		
小 山	9,751	9,751	292	294	59	59	6,500	3,517,550
大 谷	5,580	5,580	179	182	14	14	2,900	1,928,900
間々田	4,211	4,211	190	196	35	37	3,900	1,648,200
生 井	483	483	75	76	2	2		230,900
寒 川	365	365	62	62	3	3	900	187,400
豊 田	1,488	1,488	71	71	2	2	200	527,600
中	527	527	9	9	3	3		182,100
穂 積	450	450	2	2	1	1	200	142,200
桑	5,063	5,063	70	74	24	25	600	1,718,500
絹	1,148	1,148	4	4	1	1	100	353,500
社協扱	537	537	94	94	58	62		565,100
合 計	29,603	29,603	1,048	1,064	202	209	15,300	11,001,950

※社協扱には、市職員分を含む。

(2) 共同募金運動の推進

毎年 10 月 1 日～12 月 31 日の期間、全国一斉に募金活動が展開されます。小山市においても、戸別募金・職域募金・法人募金など様々な方法によりご協力をお願いしました。

集めた寄付金は、栃木県共同募金会に集約され、県内の民間社会福祉施設・団体等へ配分されるほか、本会を通じて市内の地域福祉活動に還元されます。

①小山市における募金募集実績（令和4年度募金分）

募金種別	募金実績
戸別募金	19,445,798円
法人・篤志募金	1,659,050円
街頭募金	※コロナウイルス感染拡大防止のため中止
バッジ募金	269,600円
学校・職員・その他	756,133円
合計	22,130,581円

②募金配分実績（令和3年度募金分）

対象別	配分額	内容
A 県共同募金会配分	7,692,000円	県内各種福祉施設・団体配分
B	高齢者事業	1,678,325円 友愛訪問事業、シニアライフアップ講座・サークル事業
	障がい児・者事業	261,000円 団体への活動費助成等
	児童・青少年事業	276,662円 児童遊び場整備事業、ひとり親家庭支援事業等、団体への活動助成
	住民全般事業	12,252,503円 福祉教育、ボランティア活動支援、災害ボランティア事業、外出支援事業、赤い羽根商品券給付事業、食糧支援事業等、地区社協事業
合計	22,160,490円	

③災害見舞金支給事業

栃木県共同募金会緊急配分資金規定に基づき、小災害の罹災9世帯に対して、80,000円を見舞金として贈りました。

(3)どんぐり基金(地域福祉振興基金)の造成（強化事業）

地域における民間福祉活動の推進並びにボランティア活動の振興を図るため、昭和56年3月に設置された本基金は、市民、自治会をはじめ、福祉基金協力会等の協力を得て造成運動を実施し、平成元年に1億円、平成4年に2億円を達成しました。これを期に自治会への戸別募金を終了し、現在では、団体や個人、募金箱の設置等による善意の寄付を受入れ、運用利息や基金の一部を取り崩し、ボランティア団体への活動補助金や在宅ねたきり老人等紙おむつ券給付事業へ還元しました。

どんぐり基金積立状況（令和4年度寄付受入金の詳細は28～29ページ参照）

令和4年度寄付金	基金累計額	基金保有額
2,307,284円	442,494,852円	378,312,005円

*基金累計額と基金保有額の差額（64,182,847円）は、還元事業に活用しました。

3. 安全で安心して暮らせるまちづくり

3-1. 誰もが住みやすいまちをつくろう

(1)車椅子・車椅子移送車貸出事業

介護保険による車椅子のレンタルが利用できない高齢者や、旅行や催しなどの際の短期間の利用希望に応えるため、車椅子を無償で貸し出し、在宅での生活を支援しました。

また、身体機能の低下や障がい等で一般の交通機関が利用できない方に対しては、車椅子移送車を貸し出し、社会参加や病院等への送迎を援助しました。

区 分	利用人数（延）	日数（延）
車 椅 子	148 人	5002 日
車椅子移送車	21 人	25 日

3-2. 災害時に助け合えるまちをつくろう

(1)災害ボランティア活動推進事業（強化事業）

災害ボランティア入門講座

～災害支援の基本の“き”～（共催）

（於：小山市市民活動センター）

開催日	内 容	講 師	参加者数
7月31日（日） 10：00～12：00	・災害支援の基本 ・被災者ニーズについて	李 仁鉄 氏 〔にいがた災害ボランティア ネットワーク理事長〕	25 人

企業・団体における災害支援実践講座（共催）

（於：小山市市民活動センター）

開催日	内 容	講 師	参加者数
7月31日（日） 13：00～15：00	・協働型災害VCについて ・パネルディスカッション	李 仁鉄 氏 〔にいがた災害ボランティア ネットワーク理事長〕	17 人

防災フェスの参加

（於：おやまゆうえんハーヴェストウォーク）

開催日	内 容	協 力	参加者数
9月18日（日） 10：00～15：30	・防災グッズ作成 ・防災ワークショップ	おやま防災隊員	106 人

おやま防災×SDGs なワークショップの開催

（於：おやまゆうえんハーヴェストウォーク）

開催日	内 容	講 師	参加者数
11月27日（日） 11：00～16：00	・防災迷路、防災グッズ作成 ・防災ワークショップ	野村卓也 氏 （株式会社 野村防災）	257 人

おやま防災隊員ミーティング

(於：小山市市民活動センター)

開催日	内 容	対 象	参加者数
3月21日(火) 13:30~15:30	今後の事業内容について検討	おやま防災隊員	11人

4. 地域に根づいた法人の運営

4-1. 責任ある法人運営

(1)理事会、評議員会、委員会の開催

①理事会

開催日	議 案
6月6日(月)	<p>小山市社会福祉協議会定款の一部改正について</p> <p>理事及び監事の推薦について(退任者補充)</p> <p>評議員候補者の推薦について(退任者補充)</p> <p>評議員選任・解任委員会委員の選任について(退任者補充)</p> <p>評議員選任・解任委員会委員の招集について</p> <p>第三者委員の選任について(退任者補充)</p> <p>委員会委員の指名について(退任者補充)</p> <p>令和3年度事業報告について</p> <p>令和3年度決算について</p> <p>令和3年度決算における社会福祉充実計画について</p> <p>令和4年度第1回評議員会の招集について</p>
書面会議	<p>次期理事及び監事候補者の推薦について(退任者補充)</p> <p>評議員候補者の推薦について(退任者補充)</p> <p>評議員選任・解任委員会委員の選任について(退任者補充)</p> <p>評議員選任・解任委員会委員の招集について</p> <p>第三者委員の選任について(退任者補充)</p> <p>令和4年度第2回評議員会(書面会議)について</p>
令和5年 3月3日(金)	<p>令和4年度 小山市社会福祉協議会 資金収支補正予算(案)について</p> <p>令和5年度 小山市社会福祉協議会 事業計画(案)について</p> <p>令和5年度 小山市社会福祉協議会 資金収支予算(案)について</p> <p>令和5年度における小山市との業務委託契約の締結について</p> <p>令和4年度 第3回評議員会の開催について</p>

②評議員会

開催日	議 案
6月8日(水)	小山市社会福祉協議会定款の一部改正について 理事及び監事の推薦について（退任者補充） 令和4年度事業報告について 令和4年度決算について 令和4年度決算における社会福祉充実計画について
書面会議	理事及び監事候補者の選任について（退任者補充）
令和5年 3月24日(金)	令和4年度 小山市社会福祉協議会 資金収支補正予算(案)について 令和5年度 小山市社会福祉協議会 事業計画（案）について 令和5年度 小山市社会福祉協議会 資金収支予算（案）について

③評議員選任・解任委員会

開催日	協議事項
6月17日(金)	評議員の選任（退任者補充）について 令和4年度第1回評議員の開催について
令和5年 2月1日(水)	評議員の選任（退任者補充）について 令和4年第3回評議員会の開催について（報告）

④総務・事業合同委員会

開催日	協議事項
令和5年 2月17日(金)	事業委員会委員長及び副委員長の互選について 総務・事業合同委員会委員長及び副委員長の互選について 社会福祉功労者表彰及びどんぐり基金・善意銀行感謝状贈呈式並びに 標語コンクール結果報告について 令和4年度 小山市社会福祉協議会 収支補正予算（案）について 令和5年度 小山市社会福祉協議会 事業計画（案）について 令和5年度 小山市社会福祉協議会 収支予算（案）について

⑤福祉委員会

開催日	協議事項
令和5年 2月6日(月)	第9回「ふくし」の標語コンクール優秀作品の選出について 緊急生活一時資金貸付事業の貸付・償還状況及び欠損処分について フードバンクと連携した緊急食料等支援事業について 赤い羽根緊急生活支援商品券支給事業について

⑥広報委員会

開催日	協議事項
4月26日(火)	社協だより ふれあい(6月1日号)の掲載記事について
8月2日(火)	社協だより ふれあい(9月1日号)の掲載記事について
11月1日(火)	社協だより ふれあい(12月1日号)の掲載記事について
令和5年 1月30日(月)	社協だより ふれあい(3月1日号)の掲載記事について 令和5年度の発行予定及び契約業者について

その他

(1)日本赤十字社事業

日本赤十字社栃木県支部小山市地区として、活動資金募集、各団体・機関が実施する血液事業や健康生活支援講習等の事業に活動費を交付しました。

また、火災等で被災された世帯に対して、見舞金等の支給や災害救援物資の支給を行いました。

① 活動資金募集実績

目標額	実績額
17,977,000円	13,716,440円

②災害救護活動実績

内容		実績	
		件数	金額
見舞金	全焼	7件	140,000円
	半焼	2件	20,000円
死亡弔慰金		0件	0円
毛布		16枚	
布団		16組	
緊急生活セット		7セット	

小山市社会福祉協議会善意銀行寄付者・払出先明細（敬称略）

寄付内容			払出先
寄付者	物品名	数量	
株式会社デンソーテン	スピーカー	2台	市内福祉施設（団体）
匿名	下着類 靴	多数 1足	小山市社協（個人）
匿名	車椅子	1台	小山市社協（団体）
松井勤一郎	米 タオル	30kg 多数	小山市社協（個人）
栃木県退職公務員連盟小山支部	タオル	395本	市内福祉施設（団体）
田部井千恵 田部井遥	米 食料品 日用品	30kg 多数 多数	小山市社協（個人）
川又宏子	食料品	多数	小山市社協（個人）
鹿島向原自治会	食料品	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	日用品	多数	小山市社協（個人）
匿名	日用品、タオル	多数	小山市社協（個人）
匿名	タオル	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	米	60kg	小山市社協（個人）
大内キヨ	日用品	多数	小山市社協（個人）
松本久雄	米	150kg	小山市社協（個人）
匿名	子ども用紙おむつ	1袋	小山市社協（個人）
匿名	米 食料品	90kg 多数	小山市社協（個人）
松井勤一郎	米	60kg	小山市社協（個人）
匿名	食料品	多数	小山市社協（個人）
野口成則 野口春枝	米	120kg	小山市社協（個人）

匿名	食料品	多数	小山市社協（個人）
匿名	子ども用紙おむつ	1袋	小山市社協（個人）
匿名	米	30kg	小山市社協（個人）
匿名	食料品	多数	小山市社協（個人）
鹿島向原自治会	食料品	多数	小山市社協（個人）
五家英子とみんなで楽しく踊ろう会小山支部	車椅子	1台	小山市社協（団体）
匿名	大人用紙おむつ	5袋	市内福祉施設（団体）
匿名	食料品	多数	小山市社協（個人）
リハスマイルおやま	大人用紙おむつ	4袋	小山市社協（個人）
匿名	テレホンカード	多数	小山市社協（個人）
連合栃木下都賀地協	食料品	多数	小山市社協（個人）
匿名	切手	多数	市内福祉施設（団体）
匿名	タオル	多数	小山市社協（個人）
小山市仏教会	米	90kg	小山市社協（個人）
匿名	米	180kg	小山市社協（個人）
株式会社デンソーテン	作業机	3台	市内福祉施設（団体）
匿名	子ども用紙おむつ	3袋	小山市社協（個人）
匿名	寝具衣類	多数	小山市社協（個人）
匿名	食料品	多数	小山市社協（個人）
栃木ダイハツ販売株式会社	机椅子	多数	小山市社協（団体）
ジャパンソルト株式会社 栃木支店	食料品	多数	市内福祉施設（団体）

預託（延）：個人29件、団体11件 計40件

払出（延）：個人29件、団体11件 計40件（払出件数の合計は個人・団体の重複を含む）

令和4年度 地域福祉振興基金（どんぐり基金）寄付受入明細書

令和4年4月1日～令和5年3月31日 単位：円

No.	受入年月日	金額	寄 付 者
1	令和4年4月5日	53,480	山本 二男
2	令和4年4月8日	103,952	昭和電工ユニオン 小山支部
3	令和4年4月20日	1,227	株式会社オリジン 間々田工場
4	令和4年4月25日	34,200	宇野音楽院 カラオケ教室
5	令和4年4月26日	291,000	小山市民生委員児童委員
6	令和4年4月27日	80,000	関東西濃運輸労働組合 小山支部
7	令和4年4月27日	646	小山市社会福祉協議会扱い 募金箱
8	令和4年5月10日	3,381	山川 清四郎
9	令和4年5月11日	100,000	作道 義明
10	令和4年5月20日	1,867	株式会社オリジン 間々田工場
11	令和4年5月30日	20,000	匿名
12	令和4年5月31日	50,000	株式会社マルエツ
13	令和4年6月20日	1,128	株式会社オリジン 間々田工場
14	令和4年6月27日	22,684	青木 徳久
15	令和4年6月28日	6,000	匿名
16	令和4年6月30日	5,293	豊田地区芸能愛好会
17	令和4年7月12日	11,000	花みずき会
18	令和4年7月13日	9,000	小山市グラウンド・ゴルフ協会
19	令和4年7月20日	1,067	株式会社オリジン 間々田工場
20	令和4年7月20日	692	株式会社オリジン 間々田工場
21	令和4年7月26日	4,467	第19回小山市男女共同参画フェア実行委員会
22	令和4年8月15日	88,327	JA 豊田職員会
23	令和4年8月19日	1,752	株式会社オリジン 間々田工場
24	令和4年9月20日	1,916	株式会社オリジン 間々田工場
25	令和4年9月30日	11,365	大関 洋子
26	令和4年10月4日	29,100	スマイルコンサート
27	令和4年10月13日	310,000	両毛ヤクルト販売株式会社
28	令和4年10月19日	14,688	匿名
29	令和4年10月20日	1,861	株式会社オリジン 間々田工場
30	令和4年10月20日	2,214	株式会社オリジン 間々田工場
31	令和4年10月25日	20,643	青木 徳久
32	令和4年11月2日	17,000	ぬくもり
33	令和4年11月7日	100,000	チームなごみ栃木
34	令和4年11月8日	30,000	匿名
35	令和4年11月16日	6,800	小山市グラウンド・ゴルフ協会

36	令和4年11月18日	1,496	株式会社オリジン 間々田工場
37	令和4年11月21日	69,433	小山市農政対策協議会
38	令和4年12月8日	37,063	山本 二男
39	令和4年12月9日	10,000	小山きもの日 実行委員会
40	令和4年12月20日	1,054	株式会社オリジン 間々田工場
41	令和4年12月23日	40,080	認定こども園 早蕨幼稚園
42	令和4年12月23日	10,000	匿名
43	令和4年12月24日	8,830	御殿町商店会
44	令和4年12月26日	200,000	昭和電工株式会社小山事業所
45	令和4年12月28日	20,000	小山聖ミカエル教会
46	令和5年1月10日	37,855	公益社団法人 小山市シルバー人材センター
47	令和5年1月10日	21,857	小山の初市実行委員会
48	令和5年1月12日	17,477	学校法人つぼみ学園 つぼみ kinder garten 園児・つぼみ会一同
49	令和5年1月16日	30,350	小山市交響吹奏楽団
50	令和5年1月20日	2,385	株式会社オリジン 間々田工場
51	令和5年1月20日	2,023	株式会社オリジン 間々田工場
52	令和5年2月1日	15,294	特定非営利活動法人 げんきフォーラム桑
53	令和5年2月1日	19,841	青木 徳久
54	令和5年2月14日	20,000	篠崎 義則
55	令和5年2月20日	90,229	小山市仏教会
56	令和5年2月20日	1,180	株式会社オリジン 間々田工場
57	令和5年2月22日	3,583	匿名
58	令和5年2月24日	24,282	株式会社ベルク フォルテ間々田店
59	令和5年3月3日	10,000	匿名
60	令和5年3月15日	10,000	黒田 克宏
61	令和5年3月20日	100,000	関東西濃運輸労働組合 小山支部
62	令和5年3月20日	1,393	株式会社オリジン 間々田工場
63	令和5年3月22日	48,609	昭和電工ユニオン 小山支部
64	令和5年3月22日	4,589	小山市社会福祉協議会扱い 募金箱
65	令和5年3月24日	11,631	なつかしの童謡会・おやま
合計		2,307,284	65件(延件数)

事業報告附属明細書

令和4年度事業報告においては、「事業の内容を補足する重要な事項」に該当するものではありません。